

# The 健康応援隊!

流行性耳下腺炎（以下、おたふくかぜ）は2～7歳の子どもの中心にかかりやすいと言われている感染症で、以前は初冬から春にかけて流行していましたが、現在では季節性はなく、数年ごとに大きな流行を周期的に繰り返しています。今年は9月末までの発生状況は昨年と同時期を大きく上回っていて、周期的な流行のピークに当たる可能性があると言われています。

おたふくかぜは、くしゃみや咳による空気感染や接触感染でうつります。そのため子どもが多く集まる場所で子ども同士が接触して集団感染することが多いです。おたふくかぜの主症状は耳下腺（耳たぶからあごのライン）の腫れ、発熱、食欲低下、だ液腺の腫れ等です。感染力は比較的弱く、感染していても症状が出ないことがあるので、感染に気付きに

くい場合もありますが、一度感染すると一生有効な免疫を獲得します。

おたふくかぜは日頃の生活の中で予防することは困難な感染症です。また、おたふくかぜは子どもだけの感染症ではなく、子どものうちに感染しなかった大人が感染することもあります。大人が感染した時はおたふくかぜの主症状は子どもが感染した時よりも強く出ると言われています。特に子どもと接する機会の多い方は、子どもが感染することの多い感染症に対してはしっかり免疫を持っていた方が安心です。おたふくかぜの予防接種は日本では1歳を過ぎたら受けられる任意の予防接種となっていますので、免疫がないようでしたらお近くの医療機関で相談してみてください。

（保健課 保健師）

## 12月の小児医療輪番制

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
						西
3	4	5	6	7	8	9
西	友	西		西		
10	11	12	13	14	15	16
友	友	西		西		西
17	18	19	20	21	22	23
西	友	西		西		西
24/31	25	26	27	28	29	30
西/西	友	西		西	友	西

西：茨城西南医療センター病院（境町） ☎(87)8111

友：友愛記念病院（古河市） ☎(97)3000

輪番日及び時間

月、火、木、土曜日は午後6時～翌朝8時

日曜・祭日は午前8時～午後6時



## 格差社会

町長 大谷隆照

先日、東京足立区の教育委員会が小・中学校の予算配分につき、それぞれの学校の成績に応じて差をつけるという方針を打ち出し物議をかもしました。結果的にその方針は撤回されたようですが、それでも何らかの形で成績を反映した予算配分の要素は残すようです。

ここに、今の日本の社会の歪みが端的に表されているように私は思います。

「いい点を取れば小遣いを値上げしてあげる。あるいは何かを買ってあげる。」という親は世間には沢山いると思います。

このことの是非はいろいろあると思いますが、私は原則としていいこととは思えません。餌で人を動かすということとは、基本的に卑しいことだという認識をもつことは必要なことだと思えます。それが公的な教育機関において堂々とまかり通るといふことはあってはならないことだと思えます。

今年はどうな年でしたかと言われれば、競争社会が生み出した格差が拡大し、その歪みが随所に顕在化した年といえるのではないのでしょうか。一例として、プア・ワーキングといわれる階層が働く人の2割に達したといわれています。これは毎日真面目に働いても生活保護の基準の所得に及ばない層をさすといわれています。

また、子どもの「いじめ」が大きな社会問題になっていますが、これも競争社会における効率至上主義の横行がこの問題の根っこにあることを見逃すわけにはいきません。いわゆる格差社会の落とし子といえると思えます。

様々な場面において弱者といわれる部分が拡大し、そして切り捨てられていくという流れを断ち切り、競争に替わる共生の原理を軸とした社会をどう再構築するかという重い課題が私たちに突きつけられているのではないのでしょうか。

### お待ちしております

広報ごかでは、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先 町長(直通) ☎(84)1550  
企画調整課広報担当  
☎(84)1111(内線228)

### 人口と世帯

(11月1日現在)

総人口 9,987人 (-15)  
男 5,049人 (-12)  
女 4,938人 (-3)  
世帯数 2,999世帯 (-11)  
(内は前月比)

### 12月の納税

町県民税 4 期  
国保税 6 期  
介護保険料 6 期  
保育料 12月分  
学校給食費 8 期